



スモールステップ



7月号

「小さな一歩を積み重ねて」

副校長 笠井 玉喜

授業参観には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。

子供たちは、日頃の学習で積み重ねてきたことを、保護者の皆様に見ていただくことを楽しみにしながら、少し緊張した表情も見せていました。それでも、先生や友達と一緒に活動に取り組み、「できた」「わかった」という瞬間を重ねる姿が、各教室でたくさん見られました。

本校では、一人一人の実態や興味・関心に応じて、目標に向かう道筋を小さく分け、無理なく取り組めるようにする「スモールステップ」を大切にしています。はじめは短い時間座って話を聞くこと、道具に手を伸ばすこと、友達の動きを見ることなど、小さな一歩から学びは始まります。その一歩を丁寧に認め、次の活動へつなげていくことで、子供たちは安心して挑戦し、自分らしい力を発揮していきます。授業参観で御覧いただいた学習の様子にも、日々の小さな積み重ねが表れていたことと思います。1学期の学びを確かな自信につなげられるよう、最後まで丁寧に支援してまいります。

防災ディ「総合防災訓練」を振り返って

生活指導部主任

5月28日(木)に今年度の「防災ディ」(総合防災訓練)を実施しました。児童・生徒は、「避難訓練(地震)」の他、日頃できない「災害時を想定した体験」として、「LEDランタン活用体験」(小1・小3・小5・中1)「体育館での就寝体験」(小2・小4・中2)、「起震車・煙ハウス体験」(小6・中学部)、「災害用トイレ活用体験」(中3)を行いました。児童・生徒それぞれに非日常的な状況への対応力や順応力に成長が見られ、訓練の積み重ねの大切さを感じました。保護者の皆様には、「引渡し訓練」に御協力いただき、ありがとうございました。引渡し状況は、保護者への引渡しが58%、代理者への引渡しが42%でした。実際に大規模地震が起きた際は、訓練のように放課後ディ等事業所スタッフによる代理対応は、困難な状況も予測されます。また、平成23年3月11日の東日本大震災当時の都内の状況を振り返っても、電車、バス等公共交通機関がストップし、交通網の大混乱が予測されます。保護者の皆様には、これらを想定し、「いざ」というときの安心のため、「学校への徒歩ルート」や「ルート上のハザードマップ」を、ぜひ御確認いただくことをお勧めいたします。